

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	乳癌治療経過中に確認された HER2 発現の変化とゲノム変化の軌跡の解明：原発、局所再発、遠隔転移巣における遺伝子変異プロファイルの検討
	研究目的	乳癌の治療経過中に HER2 発現が変化した症例において、発現変化を示した組織の体細胞レベルの遺伝子変異プロファイルを解析し、進行過程や治療の影響との関連を検討します。また、乳癌細胞の悪性化に関与することが予想される pathway に関して免疫組織学的解析で検討し検証します。
	研究対象者	2000 年以降、現在まで、神奈川県立がんセンターにおいて乳癌の治療を受け、治療経過中に HER 発現が変化したことが病理組織学的に確認された患者を対象とする。対象は、包括的な研究協力の依頼に、ゲノム解析を含めて同意されている患者とする。
	研究期間	西 暦 2018 年 9 月 28 日 ～ 西 暦 2024 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(当センターの生体試料 <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録                    センターが管理する凍結組織検体)	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	山中 隆司
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	乳腺内分泌外科、病理診断科、臨床研究所
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	該当しない。